

汚水処理施設整備交付金 事後評価シート

～ 自然・歴史環境との共生づくりーやすらぎプラン ～

平成22年7月

岐阜県垂井町

地域再生計画「自然・歴史環境との共生づくりーやすらぎプラン」事後評価

1. 地域再生計画の目標達成状況について

目標1: 汚水処理施設の整備促進(汚水処理人口普及率を48%から70%に向上)

【汚水処理人口普及率】

従 前 値			実 績			事後評価(◎、○、△にて評価)	
平成17年度	48	%	平成21年度	61.6	%	○	

総 合 所 見

下水道整備工事については、ある程度計画どおり整備促進を図ったが、区域内の排水整備工事が遅れている。また、下水道の計画区域以外は合併浄化槽の設置の推進を図ってきたが、目標の70%を達成することができなかった。汚水処理人口普及率の向上を目指し、今後一層の整備推進が必要である。

年度	下水道				浄化槽		汚水処理人口(人)		備考
	整備延長(m)		整備面積(ha)		浄化槽設置基数(基)		計画	実績	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
平成17年度	8,436.5	10,613.7	40.9	46.0	84	81		9,045	地域再生計画において、汚水処理人口は5年間で公共下水道で5,510人、浄化槽(個人設置型)で2,070人の増加を見込んでいたが、見込みを誤った。
平成18年度	7,465.0	8,889.6	37.2	58.0	146	80		10,178	
平成19年度	9,033.0	5,409.9	47.2	30.0	146	61		10,959	
平成20年度	7,564.5	6,967.4	35.2	32.0	146	94		12,472	
平成21年度	6,476.0	4,775.7	32.4	25.0	146	68		13,045	
合 計	38,975.0	36,656.3	192.9	191.0	668	384	7,580	4,000	

※汚水処理人口の合計については新規処理人口を表示

【総合評価と今後の方向性】

下水道整備事業においては、ほぼ計画どおり整備の促進に努めたが、区域内の排水整備工事に遅れが生じた。今後区域内の排水整備工事の促進を図っていく必要がある。

町合併浄化槽設置整備補助事業は平成12年度から始まり、平成16年度まで毎年100件以上の事業実績があったが、下水道の整備を進めている影響もあり、平成17年度以降は新たに住宅団地が造られた場合など、一次的に浄化槽設置件数の増加が見られたものの、基本的には新規申請者が頭打ち傾向となり、設置件数が伸び悩む結果となった。今後は、更なる汚水処理人口普及率の向上を目指し、これまでの経緯、状況を踏まえ、積極的な新規申請者の掘り起こしを進めていきたい。

目標2: 歴史的文化財を活用し、観光客を誘致(観光客年間 50万人(平成15年)を55万人)

【年間観光客数】

従 前 値			実 績			事後評価(◎、○、△にて評価)	
平成15年度	50	万人	平成21年度	48	万人	△	

※観光客数は南宮大社発表参拝者数と産業課集計分(ふれあい垂井ピア、垂井祭り、相川桜祭り)の累計

総 合 所 見

垂井町の観光客数は、南宮大社参拝者や垂井祭り等のイベント関連の集客数である。天候により大きく左右されるところがあるため、年度により多少の変動がみられる。平成20年度には、観光客数51万人、1万人増(平成15年度比)となったが、平成21年度には、48万人、2万人減となっている。観光客数の1割増である55万人を目標値に設定したが、歴史的文化財を活用できていない面がありイベントに偏る傾向があり、目標達成に至らなかった。

【総合評価と今後の方向性】

垂井祭りは、子供歌舞伎が有名であり期間中の3日間は多くの観光客が訪れる。しかし、普段の街中は、中山道の宿場町であるのにも関わらず、観光客が少ない現状である。駐車場や観光客が休憩する施設も少ない等問題点があり、今後は、中山道修景整備等観光施設の整備計画を進めていくことが重要である。

南宮大社は、美濃の一宮であり多くの参拝客が訪れるが、ほとんどは初詣の参拝客である。年間を通して例大祭やふいご祭り等多数の行事が行われているためもっと宣伝活動に努めていく。この他にも多くの観光資源があり、もっと積極的に宣伝に努めていく必要がある。

2. 垂井町文化財保存活動事業について

計画：垂井町の区域内に所在する文化財のうち重要なものを垂井町文化財にして、その保存のため適当な措置を行う者に対し、管理、補修等保存に要する経費の一部を補助

総合所見

年度	垂井の泉保存会 補助金額等(円)	表佐ハリヨ保存 会補助金額(円)	実施状況の検証
平成17年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成18年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成19年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成20年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
平成21年度	20,000	20,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。
合計	100,000	100,000	環境整備、観光案内、生息調査等を実施し、計画の通り事業が行われている。

※垂井の泉保存会の保存活動は平成18年度まで補助事業で実施、平成19年度からは委託事業で実施。

【総合評価と今後の方策】

垂井の泉は保存会による環境整備活動などにより、観光地として良好な環境が保たれている。近年ではテレビ番組などでもたびたび紹介され、地域再生計画実施以前に比べても多数の観光客を誘致している。町では毎年定期的に泉の水質検査を行っているが、今後も良好な水質を保持するため検査を継続し、泉周辺の環境整備については引き続き垂井の泉保存会へ委託事業として行っていくことで垂井の泉の環境を守っていく考えである。また、表佐の湯壺周辺では、保存会の環境整備活動が実を結び、毎年行っている生息調査の結果ハリヨの個体数の増加が見られる。また、平成21年度に行った水質検査により、湯壺の水が飲用にも適していることが認定された。この良好な水質の水を利用してホテルを育て、地域の人々が集うホテル祭を実施するようになった。今後とも保存会による環境整備活動を継続し、地域住民の憩いの場として活用できるように良好な環境を保持していく考えである。